

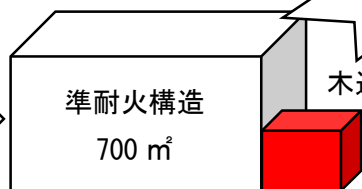
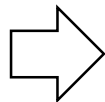
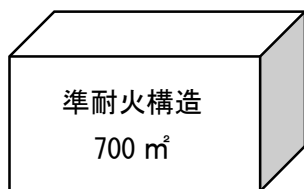
知らない間に消防法令違反に！？

重大な消防法令違反の大半は、建物の増改築や接続、用途変更が原因

で発生しています！！

消防法では、建物の構造、面積、用途等の状況によって消防用設備等の設置基準が定められているため、増改築や接続、用途変更が原因で重大な消防法令違反となることがあります。

事例1 既存工場に、木造の倉庫を増築

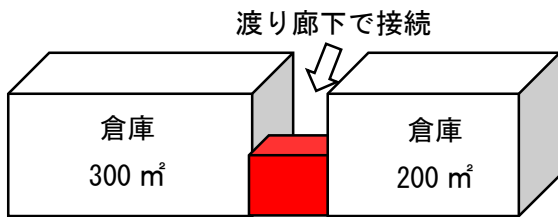


屋内消火栓設備
未設置

木造増築

※準耐火構造の緩和要件が適用されず、屋内消火栓設備の設置が必要となった事例

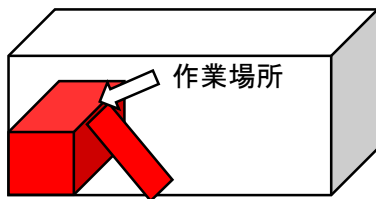
事例2 渡り廊下や屋根で建物を接続



自動火災報知設備
未設置

※2棟の延べ面積が合算され、自動火災報知設備の設置が必要となった事例

事例3 平屋の倉庫を2階層に改築

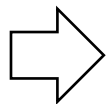
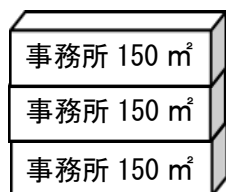


1階 600 m²
2階 100 m²
合計 700 m²

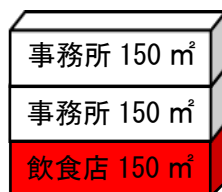
屋内消火栓設備
未設置

※2階の面積が増えたことで、屋内消火栓設備の設置が必要となった事例

事例4 事務所から飲食店に用途変更



1階に飲食店が入店



自動火災報知設備
未設置



複合用途
450 m³

※建物の用途が変更され、自動火災報知設備の設置が必要となった事例

消防法令違反になった場合

- 1 違反対象物を公表します。
違反の内容により、ウェブページ上に建物の情報を掲載する場合があります。
- 2 行政処分の対象となります。
消防法に基づく命令や罰則を受ける場合があります。
また、命令を受けると、建物の出入口に火災予防上の危険を知らせる標識が設置されます。

消防法令違反とならないよう、建物の増改築や接続、用途変更等の工事を行う場合は、事前に消防本部予防課へ相談してください。



多野藤岡広域市町村圏振興整備組合
消防本部予防課

0274-22-2467